

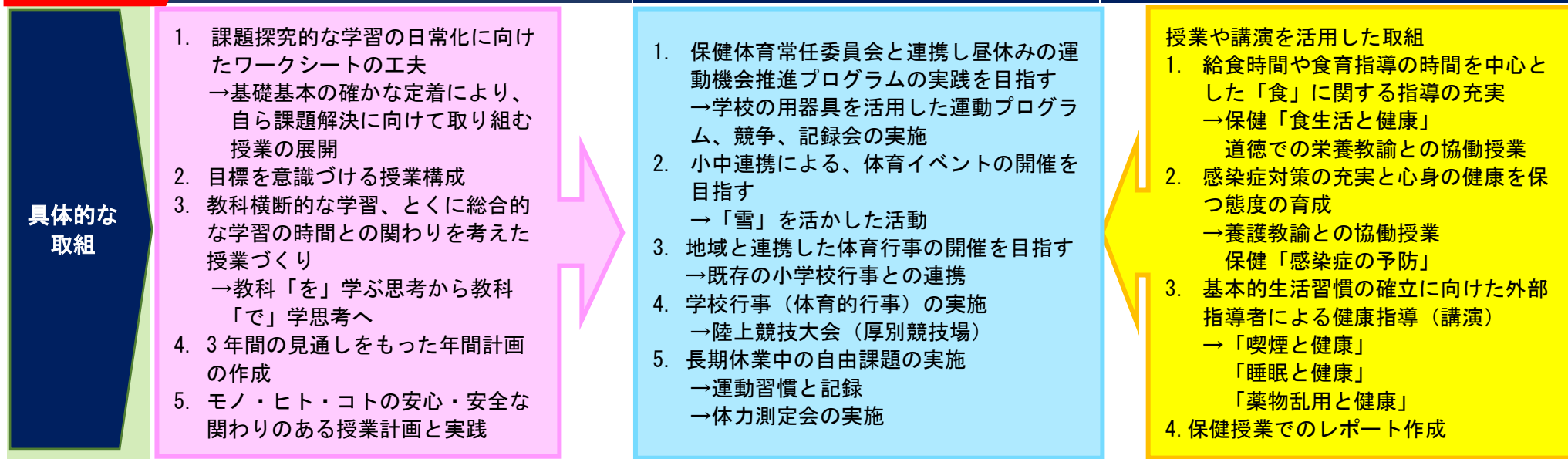
# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：34507

学校名：上野幌中学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
<b>体力・運動能力 &lt;男子&gt;</b> ○全国平均より上回っている種目 握力、長座体前屈、 ○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回った種目 上体起こし、ハンドボール投げ	○全国平均より下回った種目 反復横とび、20m シャトルラン、50m走、 ○全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回った種目 立ち幅とび	全般的に全国、札幌の平均を上回る結果となった。 傾向として走・跳・投の「走」の運動に対する結果が全国平均より下回る傾向が見られた。運動に興味関心が高く、1週間の運動時間が多い結果がでている。 運動への興味関心は比較的低くないものの結果が伴わず全国、札幌の平均を多くの種目で下回る結果となった。運動する時間数は大きな差がない。今回の結果から個人差が著しくあることが分かる。 男子は、全国平均と比べると運動への興味関心が高く、1週間の運動時間も長い。女子は、運動をすることよりも「みること、支えること、知ること、交流すること」への興味が高い。運動をすることが習慣化されていない子どもが多く、時間的余裕がないとも回答しているため、運動機会の創出が求められる。 男女ともに、遊び・スポーツは好きだが体育に対する関心が低く、学びの個別化や周りから認められることを求めているため、一層の体育学習の充実が求められる。
<b>体力・運動能力 &lt;女子&gt;</b> ○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回った種目 握力	○全国平均より下回った種目 上体起こし、長座体前屈、反復横とび、 20m シャトルラン、50m走、立ち幅とび、 ハンドボール投げ	
<b>運動・スポーツへの意識、運動習慣</b>	「朝食の摂取」男女共に全国平均以上 「睡眠時間」男女共に7時間未満の睡眠時間が多い 「スマホなどの使用時間」女子が全国平均時間より短い 「体育学習への興味」女子が全国平均を下回る 「体育授業への積極的な参加」は男女ともに全国平均以上 「保健や体育授業の汎用性」については女子が平均以下	

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------



家庭・地域との連携・協働	・学校評価アンケートの実施と活用 ・小中連携による体育イベントの開催を目指す ・全国体力・運動能力、運動習慣調査の活用
--------------	---